

しょうねんだん
スポーツ少年団
ジュニア・リーダー
のための
テキストブック



JSPO
Japan Sport Association

にほん しょうねんだんだんいんこうりょう 日本スポーツ少年団団員綱領

1. わたくしたちは、スポーツをとおして健康なからだと心を養います。
1. わたくしたちは、ルールを守り、他人に迷惑をかけない、りっぱな人間になります。
1. わたくしたちは、スポーツによって、自分の力を伸ばす努力をします。
1. わたくしたちは、スポーツのよろこびを学び、友情と協力を大切にします。
1. わたくしたちは、スポーツをとおして世界中の友だちと力をあわせ、平和な世界をつくります。

しょうねんだん 日本スポーツ少年団マーク



しばた えみこ とうじやまぐちけん は ぶ ちゅうがっこう
柴田恵美子さん(当時山口県埴生中学校)のデザインによるもので、
1962年(昭和37年)6月23日のスポーツ少年団創設記念日に
応募総数2062通の中から選ばれ採用が決定しました。若葉は伸びる
しょうねん ごりん しょうちよう
少年を、五輪はスポーツと連帯を象徴しています。

もくじ

● 序 章	リーダーへのとびら	2
● 第 1 章	もっとスポーツ少年団を知ろう	4
● 第 2 章	リーダーは何をするのかな	10
● 第 3 章	スポーツ遊びをしてみよう	14
● 資料集	スポーツ少年団の登録状況	20
	スポーツ少年団の歌	22
	ゴールに向かって	23

日本スポーツ少年団^{しょうねんだん}では、各都道府県スポーツ少年団^{かくとどうふけん しょうねんだん}と協力^{きょうりょく}して、リーダー^{そだ}を育てています。「リーダー」とは、各単位スポーツ少年団^{かくたんい しょうねんだん}（＝単位団^{たんいだん}）の活動^{かつどう}で団員^{だんいん}のお手本^{てほん}となって活動^{かつどう}することができる人^{ひと}をいいます。あなたもこのジュニア・リーダースクールで、リーダーへのとびら^{とびら}を開いてみましょう。



たんいだん しょう 単位団での指導^{しどう}のお手伝い^{てつだ}



イベントの運営^{うんえい}



たんいだん かつどう かい うんえいなど 単位団でのリーダー活動^{かつどう}（クリスマス会の運営^{うんえい}等）



イベントのお手伝い^{てつだ}



■ ぜんこく しやうねんたいかい さんか
全国スポーツ少年大会への参加



■ ぜんこく しやうねんだん れんらくかい さんか
全国スポーツ少年団リーダー連絡会への参加



■ ジュニア・リーダースクールの運営① うんえい



■ ジュニア・リーダースクールの運営③ うんえい



■ ジュニア・リーダースクールの運営② うんえい

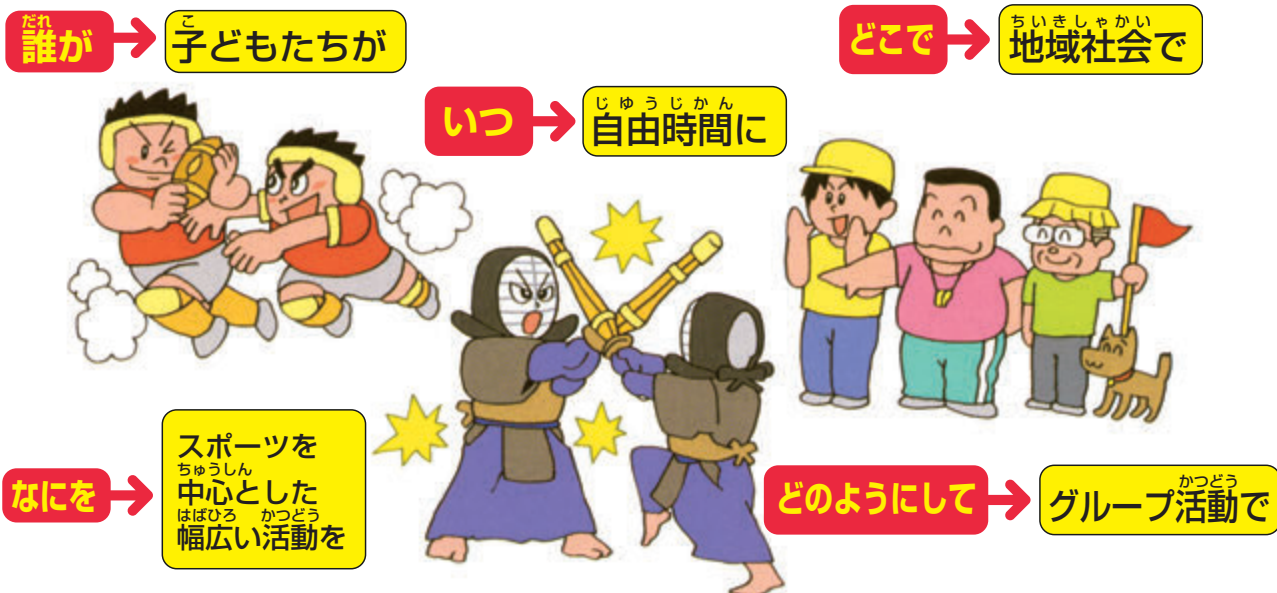


■ ジュニア・リーダースクールの運営④ うんえい

1 スポーツ少年団とはどんなもの？ できたのはいつ？

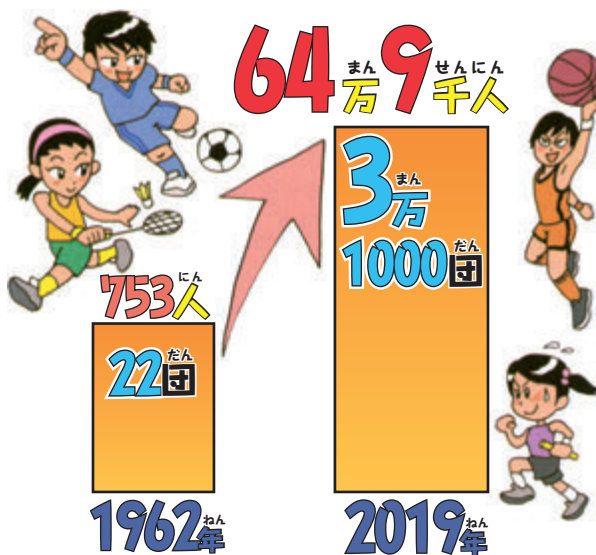
どんな団体だろう？

スポーツ少年団は、スポーツ活動を中心に幅広く活動している団体です。その活動条件は下図の5つにまとめられるでしょう。こうした活動は、あくまで自由時間に行うものです。学校での勉強や家庭での睡眠、食事など、生活で必要な活動や役割を果たすことを大切にしなければいけません。さらに、子どもから大人まで、かかわる人みんなで協力して必要な役割を分担し合い、それぞれが進んで活動することも重要なのです。



誕生と目的

日本スポーツ少年団は、1962年（昭和37年）6月23日に誕生しました。東京で第18回オリンピック競技大会が開かれる2年前のことです。創設時の願いは「一人でも多くの青少年にスポーツの遊びを！」「スポーツを通して青少年のこころとからだを育てる組織を地域社会の中に！」というものでした。当時の団数は22団、総団員数も753人と、小さな組織でした。しかし、現在（2019年度）では約3万1千団、総団員数は約64万9千人という日本最大の青少年スポーツ団体となっています。



2 スポーツ少年団の活動の広がり

きみのスポーツ少年団はどのタイプ？

単一種目タイプ

年間を通して野球、サッカー、バレーボール、剣道などひとつの種目を中心に行います。

併行種目タイプ

年間を通して数種目を指導者や会場の都合、季節や性別、年齢別などに分けて行います。

複合種目タイプ

年間を通していろいろな種目を行います。

子どものころに、より多くのスポーツ種目や野外活動、レクリエーション活動などを体験することは、これから大人になるために必要な健康・体力づくりに役立ち、一生続けるスポーツの基礎を身につけるうえで大切なことです。いずれのタイプでも、幅広い活動が好ましいことに変わりはありません。

スポーツ少年団の活動分野

日本スポーツ少年団では、こころとからだの発達が急激に進む子どもたちにとって、主となるスポーツ活動だけでなく、文化・学習活動や社会活動など、幅広い活動を行うことがよりふさわしいと考えて、下図のように望ましい活動分野を示しています。

したがって各単位団の活動は、しっかりした目的と目標を定めて、無理なく活動に参加できるように計画的に行われることが必要です。



主となるスポーツ活動

年間を通しての活動では、スポーツが中心となります。

しかし、ひとつの種目だけを1年間行うのは、体力だけでなく技術の面からもよい効果が得られないといわれています。主となる種目とあわせて、違うタイプの種目も行うようにしましょう。



野外活動・レクリエーション活動

キャンプやハイキング、オリエンテーリングなど大自然の中での活動は、いつもとは違った活動ができるとともに、親子などで参加することによって「ふれあい」も生まれます。



また、お楽しみ会やクリスマス会などの計画は、単位団全体の活動内容を豊かにするとともに、楽しい雰囲気の中で団員、指導者、役員・スタッフ、育成母集団のまとまりを強くすることに役立ちます。

文化・学習活動

絵を描く、文章を書く、合唱をする、郷土芸能を教えてもらう、スポーツの歴史やルールのお話を聞くなどの活動は、こころを豊かにする効果があります。



また、テーマを決めて話し合い、お互いを理解しあう学習は、みんなが発言して目標を決めたり、問題を考えるための力が身につきます。

社会活動

スポーツ少年団は、地域社会で活動する団体です。地域の一人としてお祭りや運動会、清掃活動、防災訓練、交通安全活動、奉仕活動などに積極的に参加し、協力しましょう。これは、地域からスポーツ少年団が認められることにつながり、地域の暮らしを知ることができます。



体力テスト（運動適性テストⅡ）

運動適性テストⅡは、自分の体力、運動能力やからだの状態を確認することができるテストです。このテストを利用して、バランスのとれたからだづくりをこころがけましょう。ただし、上位の成績をとることが目的ではないことは知っておいてください。

日本スポーツ少年団ではすべての単位団の共通活動として、年に春秋2回、体力テストの実施を勧めています。

3 単位団活動を支えるスポーツ少年団のしくみ

単位スポーツ少年団 (=単位団)

単位団は、「参加する団員（満3歳以上）」と、「まとめ役を果たすリーダー」、「適切な指導・助言で子どもたちの能力を引き出すことができる指導者・役員・スタッフ（満18歳以上）」、「単位団のために金銭の支援や指導の手伝い、子どもの世話などで支えてくれる地域の育成母集団」がメンバーとなることで、はじめて地域クラブとして成り立ちます。

第1章

もっとスポーツ少年団を知ろう

団員

(スポーツを中心とした活動)

- 活動における役割分担
- 団費納入

リーダー

- 年下の団員のお手本:まとめ役
- 指導者のお手伝い

スポーツ少年団

指導者・役員・スタッフ

(適切な指導・助言)

- 団員の指導
- 単位団の運営

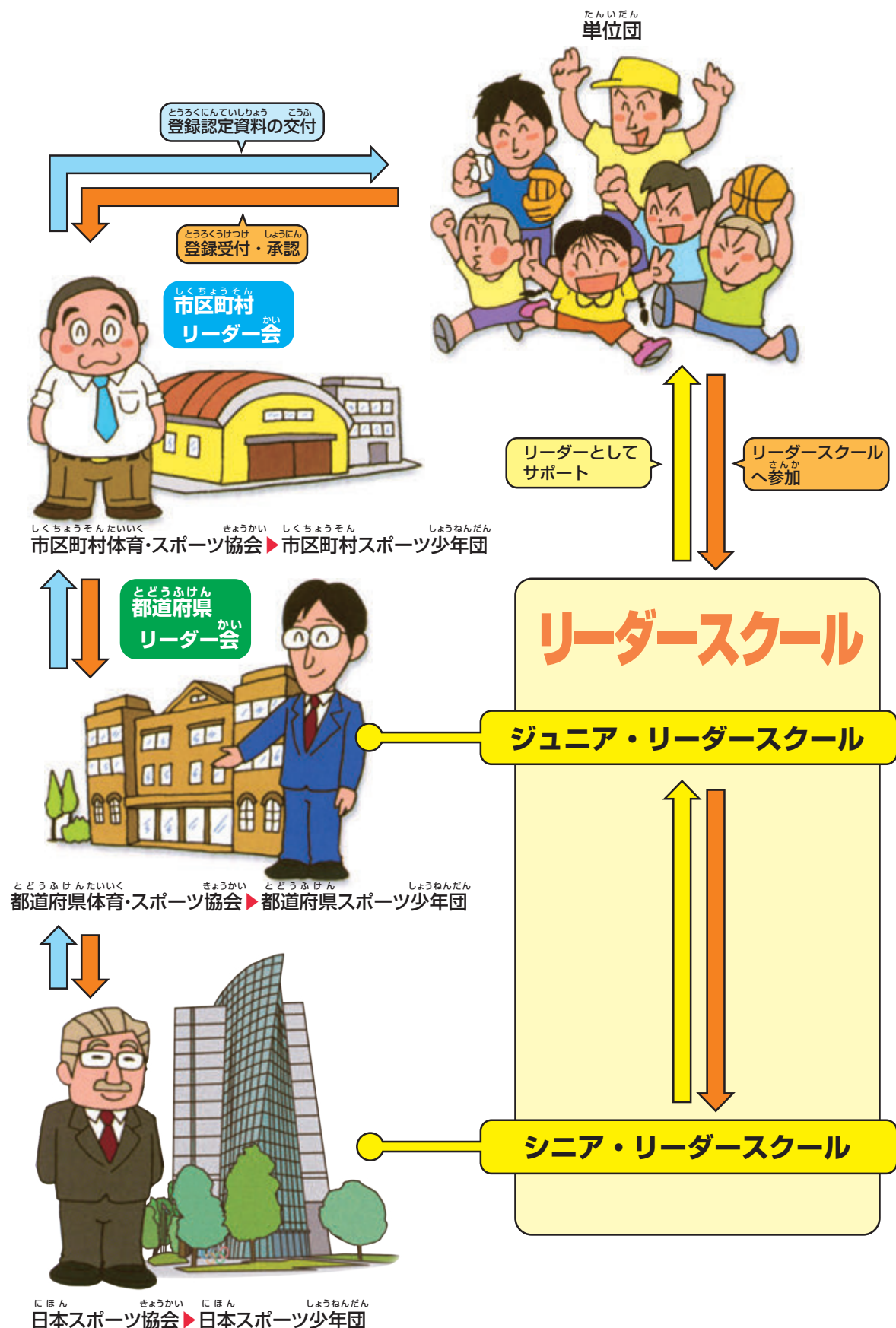
育成母集団

(保護者・地域住民の組織)

- 役割分担による少年団の経営
- 親や住民・みんなのスポーツ活動



たんいだん にほん しょうねんだん 単位団から日本スポーツ少年団まで



！話し合いワーク「きみの単位団活動を紹介します」

この章では、スポーツ少年団の活動について学びましたね。学んだことを参考に、それぞれの所属する単位団での活動を発表しましょう。

話し合いのときには、次の点に注意してください

- ・仲間を信じて、恥ずかしがらずに自分の意見を伝えましょう。
- ・人の話の途中で発言せず、最後まで真剣に聞きましょう。

Q1 いつ、どんな活動をしていますか？

Q2 スポーツ以外の活動をしていますか？

Q3 どんな人が活動に関わっていますか？

Q4 活動のどんなところが好きですか？

1 リーダーの役割

スポーツ少年団では、単位団活動をしながら年下の団員のまとめ役や指導者のお手伝いをする団員を「リーダー」と呼んでいます。

リーダーには、みなさんのように小学5年から中学生までの単位団において団員のまとめ役となって活動する「ジュニア・リーダー」と、高校生以上で単位団やリーダー会の指導や運営の手伝いを行う「シニア・リーダー」があります。リーダーは、指導者の指導のもと、団員の気持ちを理解してグループをまとめ、さらに目標に向かってグループを育てていく役割を担います。

このように、リーダーの役割は大切なもので、その立場は「日本スポーツ少年団指導者・リーダー規程」として確立されています。また、リーダーの資質と能力向上をはかるため、「リーダー養成事業（ジュニア・リーダースクール、シニア・リーダースクール）」が行われています。

2 望まれるリーダーとは

団員の気持ちや考えを聞いてあげたり、単位団全体のことを考えて目標の達成のためにすすんで活動していくことができる人がリーダーとして望まれる人なのです。そのような人になるには、グループをまとめていく力とグループを目標に向ける力を身につけることが大切です。しかし実際に、そのすべてを身につけている人は少ないでしょう。大切なことは、今の自分に何が身についていて、何が足りないのかを知り、より良いリーダーになるために学び続けることなのです。

集団を
まとめる働き

集団を
目標に向ける
働き

メンバーからの信頼、支持



つぎ こうもく じぶん あ こうもく ない じるし
次の項目で自分に当てはまる項目の□内に○印をいれてみよう！

■ グループをまとめていくためには

- ☐ あか 明るくはきはきして^{げんき}元気よく、他人^{たにん}とすぐうちとける
- ☐ じぶん いけん つた 自分の意見を伝えるだけでなく、まず他人^{たにん}の意見^{いけん}を聞くことができる
- ☐ おも 思いやりがあってえこひいきをしない
- ☐ たにん まちが しつぱい ゆる 他人の間違いや失敗を許せる
- ☐ ぜんたい いけん き れいせい ただ はんだん 全体の意見を聞いて、冷静に正しい判断ができる

■ グループを^{もくひょう}目標にむけるには

- ☐ じぶん いけん 自分の意見がはっきりしている
- ☐ せきにんかん 責任感があり、すすんで仕事^{しごと}ができる
- ☐ つよ いし 強い意志をもち、決めたことは最後まで^{さいご}投げ出さない
- ☐ だんいん 団員をはげまし、やる気^きをおこさせることができる
- ☐ たいりょく 体力があり、スポーツ^{ぎじゅつ}技術もすぐれている



3 リーダー^{かい}会

リーダーはそれぞれが所属^{しよぞく}している単位^{たんい}団^{だん}で活動^{かつどう}していますが、同じ地域^{おな ちいき}のリーダーが集まり^{あつ}、スポーツ^{たの}を楽しみ^{ごうりゅう}、交流^{がくしゅう}や学習^とを通して望^{のぞ}まれるリーダーへのスキル・アップ^ばをする場^ばとしてリーダー会^{かい}があります。

リーダー会^{かい}は、いろいろな単位^{たんい}団^{だん}の仲間^{なかま}と交流^{こうりゅう}することができる場^ばです。お互い^{たが}の抱える^{かか}悩みや問題^{なや もんだい}を相談^{そうだん}し合^あえる場^ばでもあります。自分ひとりでは気づ^きかないことも、いろいろな活動^{かつどう}を一緒^{いっしょ}にすることで気づ^きくことができるはず^もです。また、それぞれが持つ^もている知識^{ちしき}や情報^{じょうほう}を交換^{こうかん}することで、リーダーとしてのスキル・アップ^{きたい}も期待^きできるでしょう。



■ イベントの運営^{うんえい}



■ リーダー^{かい}会^{かいぎ}の会議

！話し合いワーク 「リーダーの活動を聞いてみよう」

この章では、スポーツ少年団のリーダーについて学びましたね。リーダーやリーダー会について、先輩リーダーやスクーリングスタッフ、指導者の人にインタビューをしてより詳しく聞いてみましょう。

Q1 どうしてリーダー・指導者になろうと思ったのですか？

Q2 リーダー・指導者をしていて難しいことは何ですか？

Q3 リーダー・指導者をしていて楽しいことは何ですか？

Q4 自分の考える理想のリーダーはどのようなひとですか？

1 スポーツ遊びの良いところ

本来、子どものスポーツは体を動かして行う遊びであるといわれています。遊びは誰からも指示されるものではありません。そこには自由なよろこびと楽しさがあります。子どもは、遊びの要素を大切にしたいスポーツ（＝スポーツ遊び）をしながら成長し、大人になっていきます。スポーツ少年団でのスポーツ活動は、誰もが夢中になって楽しめるスポーツ遊びであることが大切です。



2 活動前に気をつけるポイント

健康チェックと安全確認

スポーツ遊びの活動をするときに最も大切なことは、ケガ人や熱中症などの体調不良者を出さないように気をつけることです。活動前には団員の健康チェックと活動時の服装、活動場所や使用する用具の安全を必ず確かめましょう。

健康チェック

健康チェックは活動前から始まります。一人ひとりの団員について、いつもと様子が変わっていないか、顔色はどうかといった健康チェックが重要です。そして、様子が気になる団員がいたら、声をかけて状態を聞いてください。指導者に相談してその団員を休ませ、体調を観察する必要がある場合もあります。

安全確認

活動前には活動場所と使用する用具の安全確認が必要です。グラウンドの表面や体育館に問題がないかを点検してください。グラウンドが雨でぬかるんでいたり、石が転がっていたりしないか、体育館の床に水がこぼれていたり、あぶない物が置かれていないかなどをよく点検しましょう。また、シューズ、スパイクやラケット、竹刀など使用する用具は各自で点検できるように指導しましょう。



3 活動中に気をつけるポイント

ルールの確認

スポーツ遊びには自由なよろこびがあり、誰もが夢中になります。けれど、一人ひとりが好き勝手にやっていると楽しくありません。スポーツ遊びにはルールがあります。ルールを守るからこそ、楽しいゲームができるのです。

スポーツ遊びだけでなく、スクーリング生活についても同じことが言えます。集合時間や消灯時間など決められたルールをグループ全体できちんとわかりあうことで、楽しく充実した活動ができるのです。活動の始めに、グループ全体でルールを確認し合う時間を必ずとるようにしましょう。

グループの観察

グループの観察

活動中は子どもたちの様子を絶えず観察し、そのころとからだの変化に気を配ることもリーダーの重要な役割です。

こころの動きのチェック

グループで活動していると、ときには意見がぶつかったりして気まずい雰囲気になることもあります。しかし、それはグループが成長している証でもあるのです。下記の「グループの成長段階」を参考に、団員の気持ちや考えを十分にくみとってグループを上手にまとめていけるリーダーになりましょう。

からだの動きのチェック

運動中の動きがいつもと比べて悪くないかどうかを観察します。動きが悪い場合はまず本人に声をかけ状態を確認しましょう。特に急激な気温や湿度の上昇があった場合は、熱中症や筋肉の疲労、集中力の低下から大きなケガにつながることもあるので注意してください。

グループの成長段階

(1) 不安とためらいの段階

人は初めてのメンバーと何かをするとき、また、同じメンバーであっても新たなことに取り組むときなどは、「何をしたらいいんだろう」「自分の役割はなんだろう」「うまくやれているのかな」などの不安やためらいを感じながら活動をスタートします。この段階では、不安な気持ちをよく聞いてあげ、安心させてあげることが大切です。

(2) 親しみを感ずる段階

活動していくうちにグループの中に仲のいい友達ができる段階です。この段階では、楽しいムードの中で一緒に活動できる時間を多くとるようにすることが大切です。

(3) 不平不満がでる段階

一人での不安から解放され仲のいい友達ができ、他のメンバーに対する不満がでたりして、メンバー間の意見の対立などの問題が生まれる段階です。問題が起きた場合は多数決や指導者・リーダーの意見の押しつけではなく、メンバー間の話し合いで解決することが大切です。

(4) グループがまとまり始める段階

意見の対立が減り、グループでのルールをメンバー全員が大切にし、メンバー間に信頼とおたがいに協力し合う気持ちが生まれる段階です。この段階では、メンバー間のコミュニケーションに気をつけて、勇気づけていくことが大切です。

(5) メンバーがまとまり、安定する段階

メンバーに強い一体感が生まれてグループのまとまりが高まり、メンバーの力で目標に向けて動くことができる段階です。この段階では、メンバーの動きを見守り、求められない限りメンバーに任せることが大切です。

グループの成長段階



4 活動後に気をつけるポイント

➡ クーリングダウン

こころのクーリングダウン

活動が終わったら、必ずふりかえりの時間をもって、活動全体をまとめることが大切です。自分の活動をふりかえり、良かった点、直すべき点を確認し、それをグループの仲間に伝えましょう。また、仲間からの意見を素直に聞くこと、仲間に意見を伝えることも、おたがいに自分では気づかない課題に気づくために有効です。

からだのクーリングダウン

運動を急に中止すると、運動で使用した部位の疲労がとれにくくなります。運動後はジョギングやストレッチなどのクーリングダウンを行うことが大切です。また、活動の感想を聞くなどして、子どもたちの活動後の顔色をチェックし、ケガ人や体調不良者がいないかを確認することも大切です。



！ スポーツ遊びのふりかえりシート

プログラム名				
日時	月	日	天候	
場所				

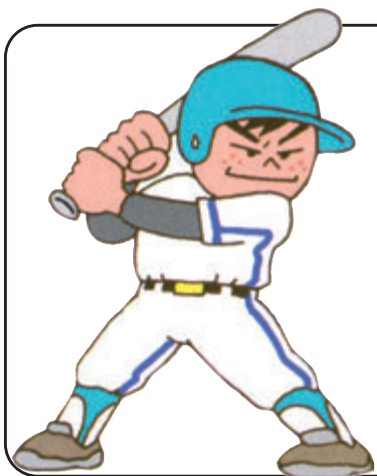
● 活動前の状態 気がついたこと・感じたこと

● 活動中の状態 気がついたこと・感じたこと

● 活動後の状態 気がついたこと・感じたこと

● 活動を終わての感想

1 スポーツ少年団の登録状況



なんしきやきゅう 軟式野球

だんすう
団数 6,230
だんいんすう
団員数 117,176



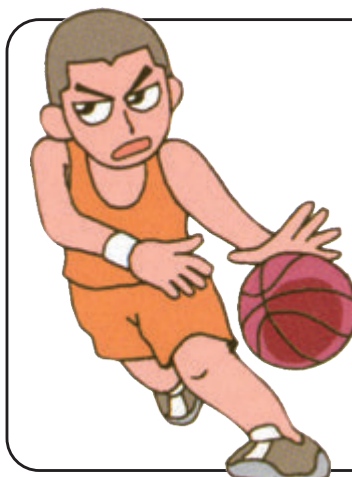
サッカー

だんすう
団数 3,969
だんいんすう
団員数 110,969



バレーボール

だんすう
団数 3,433
だんいんすう
団員数 45,353



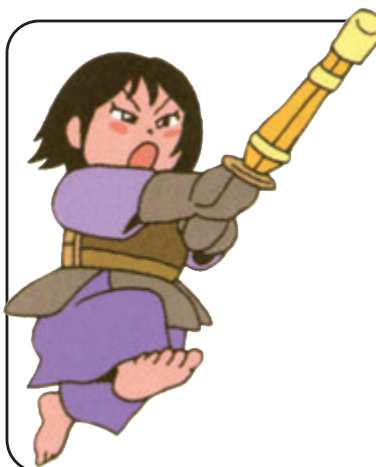
バスケットボール

だんすう
団数 3,269
だんいんすう
団員数 71,870



ふくごうしゅもく 複合種目

だんすう
団数 3,113
だんいんすう
団員数 88,784



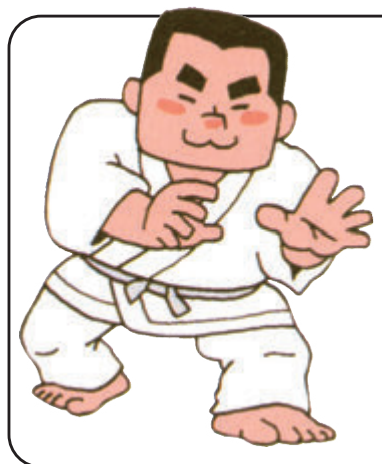
けんどう 剣道

だんすう
団数 2,552
だんいんすう
団員数 41,561



**からてどう
空手道**

だんすう
団数..... 1,923
だんいんすう
団員数..... 35,369



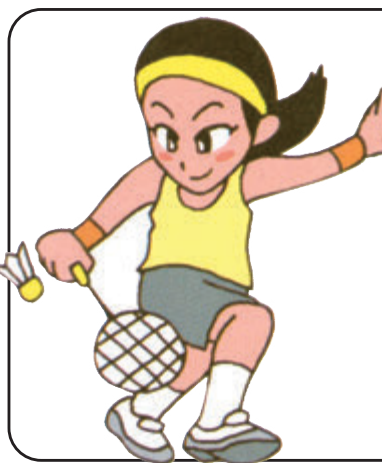
**じゅうどう
柔道**

だんすう
団数..... 1,010
だんいんすう
団員数..... 17,323



ソフトボール

だんすう
団数..... 979
だんいんすう
団員数..... 14,773



バドミントン

だんすう
団数..... 728
だんいんすう
団員数..... 15,784

ほか しゅもく
■ その他の種目

れいわげん (2019) ねんどとうろく
(令和元(2019)年度登録)

しゅもく 種目	ぜんたい 全体		しゅもく 種目	ぜんたい 全体		しゅもく 種目	ぜんたい 全体	
	だんすう 団数	だんいんすう 団員数		だんすう 団数	だんいんすう 団員数		だんすう 団数	だんいんすう 団員数
しょうりんじけんぽう 少林寺拳法	523	6,756	とらんぼりん トランボリン	44	893	たいこ 太鼓	6	89
ソフトテニス	511	13,522	さもう 相撲	37	389	ソフトバレーボール	6	106
たつきゅう 卓球	497	9,260	ばじゅうつ 馬術	35	417	カヌー	5	54
りくじょうきょうぎ 陸上競技	399	16,622	アイスホッケー	27	650	ぶじゅうつたいきょけん 武術太極拳	5	66
やきゅう 野球	330	6,588	バトントワリング	25	488	やがいかつどう 野外活動	5	126
すいえい 水泳	207	6,535	ボウリング	24	369	ウェイトリフティング	3	37
その他	222	3,597	にほんけんぽう 日本拳法	24	360	つなひき 綱引	3	13
スキー	134	1,984	リーダー会等 かいなど	23	259	カーリング	3	80
たいそう 体操	127	3,010	きゅうどう 弓道	22	479	エアロビック	3	58
テニス	124	3,026	ミニバレーボール	20	248	ボート	2	31
ドッジボール	110	1,787	スポーツチャンバラ	18	197	さんかく 山岳	2	18
ラグビーフットボール	93	2,772	ゴルフ	15	177	ゲートボール	2	36
ハンドボール	89	2,861	フットベースボール	10	107	ティーボール	2	33
あいきどう 合気道	73	1,406	フェンシング	9	108	トライアスロン	1	9
レスリング	63	985	ボクシング	8	96	ローラースケート	1	16
ホッケー	62	1,300	セーリング	8	69	こてき 鼓笛	1	20
スケート	62	1,097	じゅうけんどう 銃剣道	8	100	ごうけい 合計	31,302	649,289
なぎなた	56	902	アーチェリー	7	119			

付

録

資料集

2 スポーツ少年団の歌

わか 若いぼくら

磐田景代 作詞
松本民之助 作曲

♩ = 120 あふれる力で

mf

そらのあおさがぼくにある

mf

それはわかさのシンボルだ

うをむねに

いこんで

のびるぼくらは日本のこ

そうーだそうーだそうーだ

ポーツしょうねんだん

1.
そら あお
空の青さがぼくにある
それはわか
さのシンボルだ
きぼう
希望を胸にすいこんで
の
伸びるぼくらは日本のこ
そうだそうだそうだ
しょうねんだん
そうだスポーツ少年団

2.
やま あお
山の青さがぼくにある
それはファイトのシンボルだ
しげ
茂るいばらをふみこえて
か
駈けるぼくらは日本のこ
そうだそうだそうだ
しょうねんだん
そうだスポーツ少年団

3.
うみ あお
海の青さがぼくにある
それは力のシンボルだ
よ
寄せる波濤をのりこえて
すす
進むぼくらは日本のこ
そうだそうだそうだ
しょうねんだん
そうだスポーツ少年団

あさかぜ みどりの朝風

太田克美 作詞
明元京静 作曲

Marciale

mf

みどりみどりの あさーかぜに きぼうのはたが

なっている われらはスポーツ しょうねんだん に

おうけんこう あこがれたーかー

くーわかいちからを

さあたたえーよう わかいころを

さあ ーた たえーよう

1.
みどりみどりの朝風に
きぼう は た
希望の団旗がなっている
われらはスポーツ少年団
けんこう たか
におう健康あこがれ高く
わか ちから
若い力をさあたたえよう
わか こう
若い心をさあたたえよう

2.
あおぞら
さやかさやかな青空に
へいわ はと ま
平和の鳩が舞っている
われらはスポーツ少年団
みず だいち い き
水に大地に意気はつらつと
わか ちから
若い力をさあそだてよう
わか こう
若い心をさあそだてよう

3.
げんきげんき うたこえ
元氣元氣な歌声で
せかい とも
世界の友が呼んでいる
われらはスポーツ少年団
も はなさ わざ
燃えるファイトに花咲く技に
わか ちから
若い力をさあきたえよう
わか こう
若い心をさあきたえよう

！ ゴールに向かって

このスクーリング後、いよいよみなさんはリーダーの仲間入りです。

学んだことをふりかえり、リーダーとしての今後の目標を記入してみましょう。

また、スクーリングで出会った仲間や先輩リーダー、指導者から応援メッセージを記入してもらいましょう。

仲間からの応援メッセージ

リーダーとしての今後の目標

スポーツ少年団
ジュニア・リーダーのためのテキストブック
ジュニア・リーダースクールテキスト

第 1 刷 平成22年 5月10日
第11刷 令和 2 年 6月19日

監修

日本スポーツ少年団 リーダー養成ワーキンググループ

編集／発行

公益財団法人日本スポーツ協会 日本スポーツ少年団
東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号
JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 内
TEL. 03-6910-5814

次は私たちの時代 誓う、フェアプレイ



森山真稔 (26 歳 フライングディスク)



三木萌子 (21 歳 サッカー)



池田春子 (22 歳 水泳)



小山滉平 (20 歳 ローラースケート)



山内康輔 (21 歳 バレーボール)



中島理沙 (21 歳 なぎなた)

「フェアプレー」って、空気のように当たり前のようで、改めて考えてみると、わかっていないものかも…

そんなフェアプレーを、JSPO (日本スポーツ協会) は考え続け、さまざまな取組を行っています。

日本の未来を担う若者がフェアプレーをとことん考える「フェアプレイ会議」もそのひとつ。

フェアプレーを考えている JSPO も、スポーツを楽しむ皆さんにとっては

空気のような存在なのかもしれません。

それでも、JSPO はあなたのスポーツを確かにサポートしています。

あなたのフェアプレイ宣言で、ともに望む未来へ。



JSPO

Japan Sport Association

WEB でフェアプレイ宣言募集中

フェアプレイ宣言

検索

2019.04 時点

